

# 令和8年度 事業計画書

## 1 事業の実施にあたって

富士市文化振興財団は、市民の文化活動の推進及び地域文化の創造と発信を目的とし、平成4年の設立から今日まで、富士市の文化振興に寄与してきました。

近年、人口減少や少子高齢化等により市民生活を取り巻く環境は大きく変化しています。こうした変化は、市民の文化活動にも影響を与え、活動の縮小や担い手不足等、深刻な懸念が生じています。他方で、現在様々な分野で普及、活用されている情報通信技術の発達は、コミュニケーションの多様化をもたらし、文化芸術の分野においても新しい表現手法や情報発信・情報共有のあり方を提示しています。

財団は、地域の実情や社会の変化・動向を見据えながら、さらに多くの市民が文化に対する関心を高め、文化に触れる機会を創出できるよう文化会館の運営、自主事業の実施等、幅広く事業を展開していきます。

施設の利用については、利用者のニーズを的確に把握し、利用環境の整備、利便性の向上に努めます。令和7年度のホールの施設利用は、指定管理者制度が始まって以来最も高い水準にあります。引き続き多くの市民に足を運んでいただき、賑わいあふれる文化会館であるよう、施設の利用促進、サービスの向上に取り組みます。

施設の管理については、設備の保守点検や日常清掃を行い維持保全に努めます。文化会館は、すでに開館から30余年が経過しており、劣化が顕著な設備も見られます。施設が安全に稼働し、利用に支障を来すことのないよう計画的な修繕や設備更新を実施します。また、現在富士市の事業として、天井改修に向けた計画の策定が進められていますが、引き続き市との連携を密に、作業が円滑に進むよう対応します。

自主事業については、富士市制60周年記念事業をはじめ、様々なジャンルにわたり多数の事業が計画されています。中でも11月の記念コンサートは、昨年秋に財団内にワーキンググループを発足し、企画立案、スケジュール策定等、準備にあたっています。60周年を市民とともに祝福し、事業が成功を収められるよう財団一丸となって取り組みます。

通常自主事業についても、「普及」「育成」「交流」等、それぞれの目的に応じた事業を展開していきます。特に次世代を担う若年層を対象とした取り組みについては、アウトリーチ事業なども織り交ぜながら、多角的に展開していきます。

また、富士市が主催する富士市総合文化祭、富士市展等の運営については、財団が業務を受託し、地元の作家や富士市文化連盟をはじめとする団体と連携を図り実施します。

財団は、令和8年度も富士市とともに「こころ豊かな人を育てる文化のまち」を目指し、よりよい会館運営、良質な文化事業の実施、鑑賞・体験機会の提供等、地域文化の振興に尽力していきます。

## 2 管理運営事業

### (1) 施設運営

利用者に常に質の高いサービスを提供できるよう努めながら、積極的に柔軟な貸館事業を進め、催事が円滑に実施できる環境づくりと施設のさらなる利用促進を図ります。

近年の少子高齢化、情報化などの社会変化を踏まえ、次の6点を主な取り組みとします。

1. 利用者ニーズの把握・検証による利用しやすい環境の整備
2. 施設予約の利便性や快適性の向上
3. 大規模催事や多様な層を対象としたコンサート等の利用促進
4. レストランとの連携による利用者満足度向上の促進
5. 専門性の高い職員による人材育成
6. 市制60周年記念事業への運営協力

### (2) 施設管理

長期的視点で老朽化対策を講じ、計画的な施設保全を図ります。

効率性を重視し、これまで培った管理経験を活かして、以下を主軸とした施設管理に努めます。

1. 施設の機能維持と保全の徹底
2. 迅速な修繕対応と中長期的保守点検計画の策定
3. エネルギーマネジメントの取り組みと推進
4. 市が計画する大規模修繕への協力
5. 地元企業・団体と連携した紙資源循環モデルの構築

### (3) 災害対策

災害や緊急時における対応力と防災意識の向上を高めるため、以下の取り組みを推進し、職員の防災意識の啓発に努めます。

1. 消防訓練の計画的実施（年2回）
2. 防火管理講習等の受講機会の拡充
3. 危機管理マニュアルの検証
4. 救命講習等の実施

### 3 自主事業

#### (1) 自主事業計画方針

財団の自主事業は、富士市が令和4年度に策定した『富士市文化推進基本計画』の理念である「こころ豊かな人を育てる文化のまち～文化がつなぐ人と未来～」を指針として、地域の特性を的確に把握し、質の高い文化芸術に触れる鑑賞機会の提供と、地域に根差した新たな文化創造の支援に努めます。

同計画が掲げる4つの基本目標のうち、「①文化芸術に親しむ機会の充実」「②文化芸術活動の活性化」「③文化芸術を生かしたまちづくり」の3項目を重点施策として位置づけます。

また、令和8年度に迎える富士市制60周年に向けて、市との緊密な連携のもと、記念事業の成功に向けて組織を挙げて取り組みます。

#### ①文化芸術に親しむ機会の充実

文化芸術をより身近なものとするため、来館機会の少ない方々を対象としたアウトリーチ事業を強化します。幼稚園、小学校、福祉施設、まちづくりセンター等でプロの演奏家や地域アーティストによるコンサートを実施し、日常の中で芸術に触れる機会を広く提供します。

また、市民参加型事業を多角的に実施するほか、共催事業を積極的に取り入れることで、低コストかつ多彩なジャンルの鑑賞機会を拡充させます。

#### ②文化芸術活動の活性化

次代を担うアーティストの育成と支援に注力します。若手芸術家を対象とした美術公募展や、地元出身の新人音楽家による演奏会を開催し、活動の場を創出します。

また、演奏者の減少が懸念される弦楽器分野において、地域の演奏団体と連携した体験型事業を実施し、演奏人口の裾野拡大と活動支援を一体的に推進します。

#### ③文化芸術を生かしたまちづくり

地域で活動する文化芸術団体、国際交流団体、社会教育団体などとの連携による共同イベントを開催し、世代を超えた交流の場を創出します。子どもの文化活動支援としては、部活動への指導者派遣を継続し、教育現場の文化活動を支援します。

また、子どもたちの自由な発想によるオーナメントを飾ったクリスマスツリーをロゼシアターのギャラリーに展示し、冬のシンボルとして地域に親しまれる空間を演出します。

情報発信面では、YouTube、X、LINE等のデジタル媒体を活用し、地域アーティストの活動や公演情報を効果的に届けていきます。

多様化する市民ニーズを的確に捉え、職員が培ってきた専門的知見と経験を最大限に発揮することで、富士市の文化振興を牽引していきます。

## (2) 自主事業の概要

自主事業は、事業の目的ごとに「普及事業」「育成事業」「交流事業」「創作事業」「鑑賞事業」「共催事業」「協力事業」「広報事業」に分かれており、令和8年度も各事業に応じたプログラムを計画的に実施していきます。

普及事業では、優れた文化芸術に触れる機会を小中学生に提供することを目的とした「中学生・小学生招待コンサート」や「小学校学校コンサート」、ロゼシアターに足を運ぶ事が困難な方のために、公共施設や福祉施設等に出向きコンサートを実施する「おでかけロゼシアター」など7事業を実施します。

育成事業では、富士市の弦楽器奏者を増やすことにより、安定した弦楽合奏環境を整えることを目的とし、未経験者が気軽に参加できる「弦楽器体験会」を実施します。そのほか、吹奏楽を学ぶ中学生の演奏力や演奏意欲向上を図るため、パートごとに具体的な指導が受けられるようプロの演奏家を派遣する「シエナ・ウインド・オーケストラ指導者派遣」など8事業を実施します。

交流事業では、市内商店街の町おこしをテーマとし、プロの役者とオーディションにより選ばれた市民が協力してつくりあげるコメディ演劇「おぼドルゆみこ」や、地域の文化団体等協力のもと子どもたちが楽しみながら様々な文化体験ができる「スタンプラリー」など3事業を実施します。

創作事業では、創立40周年を迎えた富士フィルハーモニー管弦楽団が、弦楽器を学ぶ子どもたちや、富士市出身のヴァイオリニスト中村真紀子氏、公募により選ばれた市民合唱団と共演する「富士市制60周年記念コンサート」を実施します。また、漫才や落語などの演芸ステージに加え、オーディションにより選出予定の市民が吉本新喜劇メンバーと共演する「宝くじふるさとワクワク劇場」など4事業を実施します。

鑑賞事業では、数々のヒット曲で幅広い層に支持されている「工藤静香」のコンサートや、フランス在住で2026年より日本で本格的に演奏活動を開始する「角野未来」によるピアノリサイタル、南インドを代表する古典音楽で西洋音楽とは一線を画す独特な表現の即興演奏が魅力であるカルナータカ音楽の演奏会など5事業を予定しています。

共催事業では、財団自主事業として25年以上続いた市民ミュージカルのキャスト・スタッフの有志が、市民の手で舞台芸術を創造するため立ち上げた団体「One Heart PROJECT」による演劇・ミュージカル公演を実施します。また、目が見えないハンディキャップを抱えながらも透明感があり心に沁み渡る音色で世界中から評価されている「辻井伸行」のピアノソロリサイタルなど、多彩なジャンルの9事業を実施します。

協力事業では、弦楽器奏者支援の一環として富士宮市民文化会館と連携し、「富士山ユースオーケストラ」の活動支援を行います。

広報事業では、財団自主事業や地域の文化芸術団体の活動などを広く市民に紹介するため「文化情報誌ロゼ」を発行します。また、自主事業集合チラシ「ロゼナビ」の新聞折込みや財団自主事業を動画配信する「ロゼシアターチャンネル」にも力を入れ、自主事業の周知に努めます。

令和8年度も、多種多様な市民ニーズに幅広く応えられるよう魅力ある自主事業を展開していきます。

#### 4 受託事業

富士市より下記の事業に関する運営補助業務を受託します。  
富士市総合文化祭は、富士市文化連盟と連携をとりながら実施します。

No.	事業名	期間
1	「ふじ・紙のアートミュージアム」 施設管理業務、受付案内スタッフ手配業務	通年
2	「富士市展」運営補助、受付案内スタッフ手配業務	通年
3	「富士市総合文化祭」運営補助業務	通年